

緊急時排水型 漏水検知器 LI

第 37 回全国発明コンクール入選

特許登録番号 第 2065960 号

建設省が大都市圏の管理組合と区分所有者を対象に実施した 99 年度のマンション総合調査結果によると、水漏れのトラブルが依然として多いとのこと。集合住宅での水漏れは、ときには下階への漏水という大事故につながります。漏水の緊急時排水をキーワードとした、KOJIMA の漏水検知器 LI が功を奏します。

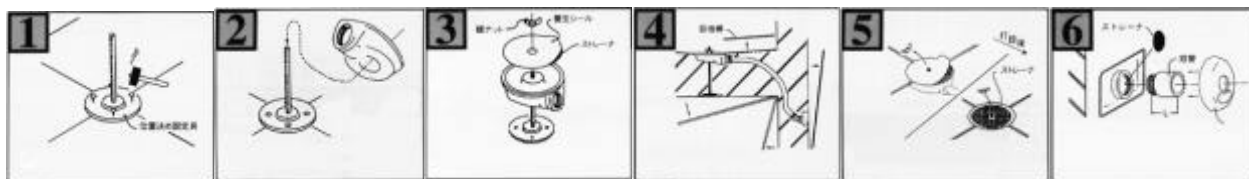
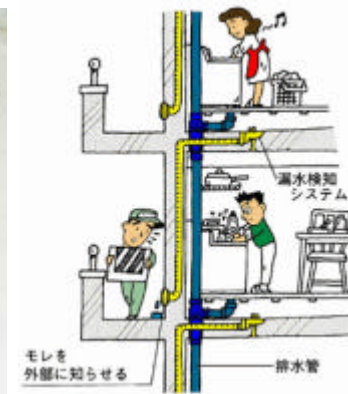
作用

集合住宅の住戸床下に配管されている給・排水管から漏水が発生した場合、漏れ出した水はコンクリートスラブ上面の集水路を経由して居室に排水されます。居室に排水されることは困りますが、導水管からの排水によって間接的に漏水を発見することができません。また漏れ状態を回避することができません。特に、圧力によって各器具に供給されている給湯管からの漏水の場合は、ひとたび漏水が発生すると漏れ続けて大事故につながります。このような場合、緊急時排水口としての機能が有効となります。

特長 KOJIMA の漏水検知器 LI は

次の特長をそなえています。
 簡単な構造ですから故障がなく、停電時でも確実に漏水を検知できます。
 漏水の早期発見および、緊急時排水が可能。
 住戸内の集水漏斗および、住戸外の検知・排水口には、防虫網が付けてあります。
 検知・排水口は露出型【LI】と、埋設型【LI(K)】の 2 型があります。
 導水管(CD管)は付属しません。
 LI の仕様図をご希望の方は、こちらをクリックしてください。
 LI(K) の仕様図をご希望の方は、こちらをクリックしてください。

仕様



1	位置決め固定具を 釘 4 本で固定する。	2	集水漏斗を位置決め 固定固定具の支持 ボルトにねじ込み、 排水方向にむける。	3	ストレー養生シールが ついたまま集水 漏斗にかぶせ蝶 ナットで固定する。	4	型枠をバラし目地棒 を外す。	5	蝶ナットを外し、養生 シールをはがす。蝶ナット でストレーを固定する。	6	ストレーを入れてから 短管をねじ込む 予め短管は壁の仕 上げ代に合わせて 裁断しておく。化粧 プレートを取付ける。
---	-------------------------	---	---	---	---	---	-------------------	---	---	---	--

バックナンバー注目度番付

横網 3月 31日 油脂分が付着した排水管内部の写真
 大関 7月 31日 どう対処するか? オフセット配管/オフセット配管実験結果
 大関 9月 15日 ディスポーザ排水と KST
 小結 2月 15日 CP 洗剤排水実験 data
 前頭 3月 15日 KST 適応階数の目安/KST 器具排水実験 data

技術資料最新版発行!

技術資料 2000 年 9 月版が発行されました。CP シリーズ KST シリーズのテクニカルデータが詳しく記載されています。ご要望の方は e-mail でお申し込み下さい。



ホームページ技術レポートの動画およびデータと併せて利用ください。